



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月1日

上場会社名 株式会社 アトム  
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山角 豪

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 春名 秀樹

TEL 052-784-8400

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,387		567		577		647	
2022年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	3.40	
2022年3月期第1四半期		

(注) 当社は、2022年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期から非連結での業績を開示しております。そのため、2022年3月期第1四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2023年3月期第1四半期	23,989		9,732		40.6
2022年3月期	24,276		10,384		42.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,732百万円 2022年3月期 10,384百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,020	25.6	1,919		1,896		325	56.5	1.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	193,559,297 株	2022年3月期	193,559,297 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	462,365 株	2022年3月期	462,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	193,096,932 株	2022年3月期1Q	193,087,077 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2022年3月31日付で連結子会社であった株式会社エムワイフーズの全株式を譲渡いたしました。これにより当第1四半期累計期間より非連結決算に移行したことから、従来連結で行っておりました開示を個別開示に変更いたしました。なお、当第1四半期累計期間は単独決算初年度にあたるため、前年同四半期の数値及びこれに係る増減率等の比較分析は行っておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症数の減少、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が全面的に解除されたことによる経済活動が再開され回復傾向にあります。

しかしながら、2022年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻に起因するエネルギーや食糧資源の高騰、原材料や各種部品の不足と物流の混乱など世界経済の回復を鈍化させる兆候は継続しています。

外食産業におきましても、資源価格の高騰が各種コストの上昇を招いております。また、食品や日用品をはじめとした消費者物価が軒並み上昇するという環境の中、これまで以上に明確な意図をもって利用店舗を選別されるという、消費環境への対応を余儀なくされております。

このような状況の中、当社では引き続き「すべてはお客様と従業員のために」という企業理念のもとにQSCA（品質、サービス、清潔、雰囲気）を高め、家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高いレベルのサービスをお客様に提供することによって、「楽しかった、美味しかった」とお客様に喜んで頂けるよう努めております。お値打ち感があり、ご利用しやすいメニューを展開することで、店内飲食だけではなく、テイクアウト、デリバリーによる飲食機会拡大も引き続き実施しております。また、店舗運営の強化策として人材の活性化を伴う適正な配置転換、労働時間の最適化、配膳ロボット導入店舗の拡充等に引き続き取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高が83億87百万円、営業損失が5億67百万円、経常損失が5億77百万円、四半期純損失が6億47百万円となりました。

当第1四半期累計期間において、不採算店4店舗の閉鎖により、当第1四半期会計期間末の店舗数は355店舗（直営店344店舗、FC店11店舗）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### <レストラン事業>

レストラン事業につきましては、不採算店を1店舗（「ステーキ宮」）の閉鎖を行い、当第1四半期会計期間末の店舗数は240店舗となりました。

レストラン事業の当第1四半期累計期間の売上高は、68億91百万円となりました。

#### <居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、不採算店3店舗（「寧々家」1店舗、「いろはにほへと」1店舗、「暖や」1店舗）の閉鎖を行い、当第1四半期会計期間末の店舗数は77店舗となりました。

居酒屋事業の当第1四半期累計期間の売上高は、9億67百万円となりました。

#### <カラオケ事業>

カラオケ事業につきましては、当第1四半期会計期間末の店舗数は27店舗であります。

カラオケ事業の当第1四半期累計期間の売上高は、3億15百万円となりました。

#### <たれ事業>

たれ事業の当第1四半期累計期間の売上高は、1億63百万円となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業につきましては、当第1四半期会計期間末の店舗数はFC店11店舗であります。

その他の事業の当第1四半期累計期間の売上高は、49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2億86百万円減少し、239億89百万円となりました。その要因は建物の減価償却を主とした有形固定資産の減少1億85百万円、敷金及び保証金の回収を主とした投資その他の資産の減少1億31百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ3億64百万円増加し、142億56百万円となりました。その要因は販売促進引当金を主とした流動負債の増加5億43百万円、長期借入金の返済を主とした固定負債の減少1億78百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ6億51百万円減少し、97億32百万円となりました。その要因は四半期純損失の計上6億47百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.6%（前事業年度末は42.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,067	7,843
売掛金	1,099	866
棚卸資産	252	214
その他	1,497	1,024
流動資産合計	9,916	9,948
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,801	4,670
その他(純額)	3,491	3,436
有形固定資産合計	8,293	8,107
無形固定資産	95	93
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,057	4,005
その他	1,949	1,870
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	5,971	5,840
固定資産合計	14,360	14,040
資産合計	24,276	23,989
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,019	2,152
短期借入金	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,327
未払法人税等	122	30
資産除去債務	108	101
賞与引当金	91	124
販売促進引当金	821	1,171
店舗閉鎖損失引当金	32	18
災害損失引当金	17	5
その他	2,652	2,808
流動負債合計	9,196	9,739
固定負債		
長期借入金	2,754	2,609
資産除去債務	1,289	1,290
その他	651	617
固定負債合計	4,695	4,516
負債合計	13,891	14,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	10,641	10,641
利益剰余金	△163	△810
自己株式	△186	△186
株主資本合計	10,391	9,744
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	△11
評価・換算差額等合計	△7	△11
純資産合計	10,384	9,732
負債純資産合計	24,276	23,989

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	8,387
売上原価	2,813
売上総利益	5,574
販売費及び一般管理費	6,141
営業損失(△)	△567
営業外収益	
不動産賃貸料	22
その他	13
営業外収益合計	36
営業外費用	
支払利息	15
不動産賃貸原価	20
その他	11
営業外費用合計	46
経常損失(△)	△577
特別利益	
助成金収入	19
特別利益合計	19
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純損失(△)	△558
法人税、住民税及び事業税	30
法人税等調整額	58
法人税等合計	88
四半期純損失(△)	△647

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。